

国民とともに新しい政治への前進をきりひらく日本共産党へ

あなたの入党を心からよびかけます

参議院選挙でご支援をいただき、ありがとうございました。また、多くの方々に炎天下や風雨のなかで、ご協力をいただきながら、比例代表選挙で後退し、埼玉選挙区で伊藤岳候補の勝利をかちとることができなかったことは、私たちの力不足であり、おわびいたします。

昨年の総選挙で、国民は、自公政権に退場の審判を下し、今回の参議院選挙では、民意を踏みにじる民主党政権へ厳しい審判を下しました。同時に自民党は、議席を増やしましたが、比例代表選挙での得票は、大敗した二〇〇七年の参議院選挙よりも減らしており、国民が自民党政権へ戻ることを求めたものといえないこともあきらかです。こんどの選挙の結果全体は、国民が自民党政治に代わる新しい政治を探求する過程にあることを示しているといえます。

日本共産党は、こうした国民の探求が実を結び、新しい政治への道を開くものとなるよう、力をつくしていきます。その第一歩として、「消費税増税を許さない」「暮らし応援の経済政策への転換」「米軍普天間基地の無条件撤去」など公約実現へ、国会内外で広く共同して全力でとりくみます。

日本の政治と社会の明日への見通しがまったくもてない閉塞状況の根底には、「アメリカいいなり、財界いいなり」という年来の政治のゆがみがあります。国民の切実な要求実現をめざすたかいと一体に、「国民が主人公」の新しい日本への展望を語り、広げる努力をしてゆきます。

また、日本共産党を締め出すことを狙う「二大政党づくり」のもと、国民の声が反映し、実現していくためには、どうしても大きく強い党が求められています。今年、選挙戦のとりくみのなかで、日本共産党に入党された方は、埼玉で三百人をこえています。日本共産党は、「国民の苦難の解決」を立党の精神として戦前・戦後一貫して歩み続け、この七月十五日に党創立八八周年を迎えました。

ぜひ、新しい政治を実現し、希望ある人生を切り開いていくためにも、あなたが日本共産党に入党し、ともに歩むことを心から呼びかけます。

猛暑の季節をむかえました。くれぐれも健康に留意し、ご活躍されることを心から願っています。

二〇一〇年七月

日本共産党埼玉北部地区委員会